

2017年11月16日

第46号

全労連

全労連
憲法・平和グループ



憲法 平和闘争ニュース

11月3日付け神戸新聞に「1万人意見広告」を載せました! ・・総がかり行動兵庫県実行委員会



兵庫労連から届いた封筒に、新聞が入っていました。「戦争させない、9条壊すな！総がかり行動兵庫県実行委員会」が、8444人、731団体の賛同を集めて、11月3日付の神戸新聞に二面見開きの意見広告を載せたものです。

大きく書かれた「9」の字を背景に、「平和をつなごう！今日生まれた子の未来が戦争のない世界でありますように」「未来の子どもたちに平和のバトンをわたそう！」と書かれています。そして、ビッシリと賛同者の名前が書かれています。「スゴイ！こんなに多くの人たちの思いを集めたのだ」と感動してしまいます。きっと、神戸新聞の読者もそう思ったことでしょう。「9

条変えてはならない」という思いを、こんな形で「可視化」しました。素敵な運動です。

【兵庫憲法共同センターより】

3千万人署名運動！各行政区でどう進めるか～「オール灘区の会」で具体化確認

今度の3000万人署名は、有権者数の過半数獲得への大きな決断と実行が必要です。この観点を貫いた「オール灘区の会」の決定内容です。30人で会議を開き、確認したそうです。

- I、目標を有権者数から計算する。(省略)
- II、意義と目的
 - ①「安倍改憲ノー」を市民と野党連携でやりきる。
 - ②憲法9条改定案の発議を許さない。
 - ・この点は後で記載する小集会の政治論議で徹底して深める。
- III、宣伝
 - ①目標に見合う署名用紙、宣伝ビラの作成と配布、
 - ②区内全域の団体・組織へ届ける「民主団体、自治会、老人会、婦人会、青年組織、学生組織、宗教団体、文化知識人など」
 - ③毎月定例化されている区内ターミナル・街頭行動（共同センター、原水協、共産党、社保協、青年学生、婦人など）にのせて頂く
 - ④手作りポスターは大量作成してもらう、神戸新聞意見広告増刷の活用、年末・年始に目標を立てて張り出す。
- IV、組織
 - ①賛同団体・組織で12/25までに意義や目標を話し合う場を設けて頂く、
 - ②1人5筆を10人組織するチャレンジャー活動家を目標の2%を超える人々に応募してもらう。チャレンジャーが参加する小集会を2018/1末までに60回以上開催する。
 - ③既に決まっている小集会として11/16から開始
 - ④団体・組織訪問の日程を決める
- V、推進のための体制＝節とテンポと集約、世話人会議の日程は下記の通り・(省略)
- VI、財政・その他＝大きな費用についての募金活動を決める。

どうぞ、参考にしてください。さっそく、あなたの地域・職場でも話し合しましょう。

変えちゃダメ！憲法9条～憲法闘争交流集会～

11・4 憲法闘争交流集会 その1

11月4日、東京・麹町スクワールで全教・教組共闘連絡会による「変えちゃダメ！憲法9条～憲法闘争交流集会2017～」が開催され、全国から150人以上の参加がありました。総選挙後の9条改憲をめぐる情勢について学習を深め、今後、改憲発議阻止に向けて奮闘する決意を固め合う集会となりました。

講演テーマ：「総選挙後の憲法、憲法9条をめぐる情勢と憲法を守る運動の課題」



全体講演：渡辺治さん（一橋大学名誉教授）

1. 「5.3 安倍改憲提言は何を狙っていたのか？」
2. 「安倍9条加憲は日本とアジアの平和を確保するか？」
3. 「なぜ、安倍首相は解散・総選挙に打って出たか？」
4. 「総選挙の結果と安倍改憲の新段階」
5. 「安倍改憲を阻むかつてない共同を！」

の5点にわたるお話を通して、安倍首相のねらいや総選挙をめぐる情勢のとらえ方、これまでの運動の到達と今後の展望などが鮮明になりました。

～参加者の感想より～

- 子どもたちは、自衛隊の災害救助の様子を見て「かっこいい」と憧れ、将来の夢として人気。9条に自衛隊が加憲されると軍隊に変わって、災害救助はなくなるという話は、子どもだけではなく大人との対話でも、伝えたいと思った。選挙結果の分析も、野党共闘と市民運動で変わることも改めて感じ、共同の時代を築いていくために、自分にできることを仲間と語りたい。
- 段階的に今までの流れについて大枠を知ることができ、市民と野党の共闘の力の大きさを感じた。私たちの力は微力だが、やはり運動を続けていかなければいけないと改めて感じた。
- 選挙の結果を明確に分析して説明してもらい、よくわかった。マスコミの表面的なことだけしか知らなくて、市民と野党の共闘がこんなにも強い動きになっていたことに、大いに勇気づけられ、これからの運動に元気が出るような講演だった。
- 熱のこもった講演に勇気をもらった。衆院選の情勢分析により、憲法3000万署名の可能性を認識できた。地元を持ち帰って広めたい。

渡辺治さん講演内容より一部要約

5.3 安倍改憲提言は、安倍首相の市民と野党との共闘に対する恐れと焦りが後押ししたものです。

衆議院選挙によって、安倍首相のねらいは半分しか成功しませんでした。市民と野党の共闘が生み出した立憲民主党は、市民の改憲反対の旗印となり、野党第一党となりました。安倍自民党は大勝にもかかわらず、改憲合意を得たとは言えなくなりました。決着は持ち越されたのです。ここからが9条改憲阻止の正念場です。運動の目標は国民投票ではなく、発議阻止です。運動の中心は3000万署名です。地域の力、地域での共同の広がり運動の鍵です。全国、地域、職域で立場や党派を超えて市民アクションを起こしましょう。



**安倍9条改憲を許さない
森友・加計学園疑惑徹底追及
安倍内閣の退陣を要求する**

11・19 国会議員会館前行動

**11月19日 日 14:00～
場所：第2議員会館前を中心に**

主催：安倍9条改憲NO！全国市民アクション実行委員会
戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会